

節水と水の循環

5年 説明文 6番

名前

じゃ口をひねれば、いつでも、きれいな水が出てくる。わたしたちは、それを、あたりまえのことだと思いがちです。しかし、地球にある水のうち、わたしたちが、飲んだり使ったりできる水は、ほんのわずかしかりません。地球は「水の星」とよばれますが、その水の大部分は、塩からい海水なのです。

では、その少ない水は、どこから来るのでしょうか。地上の水は、太陽の熱であたためられ、水じょう気となって、空へのぼります。それが上空で冷やされて、雲になり、やがて、雨や雪となって、また地上にもどってきます。地上にふった水は、川となり、海へ流れ、ふたたび、じょうはつしていく。このように、水は、すがたを変えながら、地球を、ぐるぐると、めぐっています。これを「水のじゅんかん」といいます。

わたしたちが使う水も、このじゅんかんの一部です。使ったあとの水は、下水しより場で、時間とエネルギーをかけて、きれいにされ、川や海へもどされます。つまり、水を大切に使うことは、この、水をめぐらせるしくみ全体を、守ることにつながっているのです。

水を守るために、わたしたちにできることは、身近なところに、たくさんあります。歯みがきのとき、水を出しっぱなしにせず、コップにくむ。おふろの残り湯を、せんとくに使う。米のとぎ汁を、植木にまく。一つ一つは、小さなことです。しかし、多くの人が続ければ、その効果は、決して小さくありません。

地球の水は、限りある、大切な資源です。そして、その水は、めぐりめぐって、遠くはなれた地いきや、次の世代の人々とも、つながっています。今、自分が使っている一ぱいの水の向こうに、そうした大きなつながりを感じる。節水という行動を、意味のあるものにしていく、第一歩なのではないでしょうか。

(1) 地球は「水の星」とよばれるのに、わたしたちが飲んだり使ったりできる水がわずかなのは、なぜですか。文章の言葉を使って書きましょう。

(2) 水が、すがたを変えながら地球をめぐるしくみのことを、何といえますか。文章から書き出しましょう。

(3) 筆者は、水を大切に使うことが、何を守ることにつながると述べていますか。文章の言葉を使って書きましょう。

(4) 水を守るためにできることの例として、文章に書かれていないものを一つ選びましょう。

- ア 歯みがきのとき、水をコップにくむ
イ おふろの残り湯を、せんとくに使う
ウ 米のとぎ汁を、植木にまく
エ 雨水をためて、飲み水にする

(5) この文章で、筆者がいちばん伝えたいこと(要旨)を、八十字以内でまとめましょう。

まとめ方のヒント
水は限りある資源で、めぐりめぐって遠くの地いきや次の世代とつながっている。だから一人一人の節水が大切だ。
一ぱいの水の向こうにある大きなつながりを感じる、節水を意味あるものにする。

節水と水の循環

解答

5年 説明文 6番

名前

じゃ口をひねれば、いつでも、きれいな水が出てくる。わたしたちは、それを、あたりまえのことだと思いがちです。しかし、地球にある水のうち、わたしたちが、飲んだり使ったりできる水は、ほんのわずかしかりません。地球は「水の星」とよばれますが、その水の大部分は、塩からい海水なのです。

では、その少ない水は、どこから来るのでしょうか。地上の水は、太陽の熱であたためられ、水じょう気となって、空へのぼります。それが上空で冷やされて、雲になり、やがて、雨や雪となって、また地上にもどってきます。地上にふった水は、川となり、海へ流れ、ふたたび、じょうはつしていく。このように、水は、すがたを変えながら、地球を、ぐるぐると、めぐっています。これを「水のじゅんかん」といいます。

わたしたちが使う水も、このじゅんかんの一部です。使ったあとの水は、下水しより場で、時間とエネルギーをかけて、きれいにされ、川や海へもどされます。つまり、水を大切に使うことは、この、水をめぐらせるしくみ全体を、守ることにつながっているのです。

水を守るために、わたしたちにできることは、身近なところに、たくさんあります。歯みがきのとき、水を出しっぱなしにせず、コップにくむ。おふろの残り湯を、せんとくに使う。米のとぎ汁を、植木にまく。一つ一つは、小さなことです。しかし、多くの人が続ければ、その効果は、決して小さくありません。

地球の水は、限りある、大切な資源です。そして、その水は、めぐりめぐって、遠くはなれた地いきや、次の世代の人々とも、つながっています。今、自分が使っている一ぱいの水の向こうに、そうした大きなつながりを感じる。節水という行動を、意味のあるものにしていく、第一歩なのではないでしょうか。

(1) 地球は「水の星」とよばれるのに、わたしたちが飲んだり使ったりできる水がわずかなのは、なぜですか。文章の言葉を使って書きましょう。

(例) 地球にある水の大部分は、塩からい海水で、飲んだり使ったりできる水は、ほんのわずかしからないから。

(2) 水が、すがたを変えながら地球をめぐらせるしくみのことを、何といえますか。文章から書き出しましょう。

水のじゅんかん

(3) 筆者は、水を大切に使うことが、何を守ることにつながると述べていますか。文章の言葉を使って書きましょう。

(例) 水をめぐらせるしくみ全体(を守ることにつながる)。

(4) 水を守るためにできることの例として、文章に書かれていないものを一つ選びましょう。

ア 歯みがきのとき、水をコップにくむ
イ おふろの残り湯を、せんとくに使う
ウ 米のとぎ汁を、植木にまく
エ 雨水をためて、飲み水にする

(5) この文章で、筆者がいちばん伝えたいこと(要旨)を、八十文字以内でまとめましょう。

水	は	限	り	あ	る	資	げ	ん	で
、	地	球	を	め	ぐ	り	な	が	ら
遠	く	の	地	い	き	や	次	の	世
代	と	つ	な	が	っ	て	い	る	。
そ	の	つ	な	が	り	を	思	っ	て
、	一	人	一	人	が	節	水	す	る
こ	と	が	大	切	だ	。			

まとめ方のヒント

水は限りある資源で、めぐりめぐって遠くの地いきや次の世代とつながっている。だから一人一人の節水が大切だ。一ぱいの水の向こうにある大きなつながりを感じる。節水を意味あるものにする。

問1 （例）地球にある水の大部分は、塩からい海水で、飲んだり使ったりできる水は、ほんのわずかしかなから。

一つ目の段落に「その水の大部分は、塩からい海水なのです」とあります。

問2 水のじゅんかん

二つ目の段落に「これを『水のじゅんかん』といいます」とあります。

問3 （例）水をめぐらせるしくみ全体（を守ることにつながる）。

三つ目の段落に「水を大切に使うことは、この、水をめぐらせるしくみ全体を、守ることにつながっている」とあります。

問4 エ

ア・イ・ウは、四つ目の段落に書かれています。エの「雨水を飲み水にする」は、文章にはありません。

問5 （例）水は限りある資げんで、地球をめぐりながら遠くの地いきや次の世代とつながっている。そのつながりを思って、一人一人が節水することが大切だ。

「限りある資げん」「水のじゅんかん・つながり」「一人一人の節水」という中心の考えを、指定字数でまとめられていれば正かいです。